

# 2009 年度後期「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ教育プログラム」 科目等履修生 募集要項

2007 年度に文部科学省グローバル COE に採択された「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」では、その成果を広く社会に還元し、デジタル・ヒューマニティーズという分野を日本で先駆的に確立するため、学外より本教育プログラムを履修する科目等履修生を募集します。

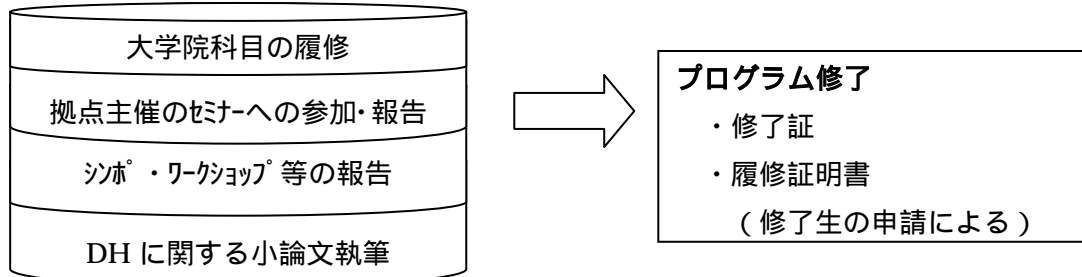
## 募集対象・人数

### 1) 募集対象

- ・ 本学に在籍していない社会人（他大学院生不可）
- ・ （原則として）現役学芸員・美術系教員等の専門職に従事している者
- ・ 学部卒業以上の学歴を有する者
- ・ 本学に PD として所属する者

### 2) 人数 年間約 5 名

## プログラム概要



## 本学に在籍していない社会人

2 年間のプログラムですが、勤務状況に応じて 3 年まで延長が可能です。

履修した科目は、正規に大学院に入学された場合、修了要件単位として認定します。

プログラム修了時には、「修了証」の授与を行います。また修了生の申請に応じて「履修証明書」を発行します。

## 本学に PD として所属する者

2 年間のプログラムですが、本学大学院修了者の場合、本学大学院在籍中の単位修得状況に応じて 2 年以内で修了できる場合があります。

プログラム修了時には、「修了証」の授与を行います。また修了生の申請に応じて「履修証明書」を発行します。

) プログラム内容

区分1	区分2	修了要件	備考
科目履修	デジタル・ヒューマニティーズ科目	6単位必修	大学院科目 2年間の登録上限単位数は10単位
	海外日本文化研究科目	2単位必修	
セミナー	GCOE セミナー <sup>*1</sup>	4回以上の報告	毎週開催
	基礎 DH セミナー <sup>*2</sup>	年2回の参加 <sup>*3</sup>	不定期開催(単位認定なし)
イベント等	ワークショップ シンポジウム、講演会	1回以上の報告	GCOE 事務局が指定又は認定したもの
論文	小論文	小論文の提出と審査の合格	

\*1: GCOE セミナーは、毎週火曜日 6 時限目に開催されています。ここでは、拠点の若手研究者による研究成果報告や学外の研究者による、講演会を開催しています。なお、一般の方々にも公開されています。

\*2: 基礎 DH セミナーでは、「GCOE 日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」の基礎的な内容に関わるシンポジウムや講演会を随時開催しています。

\*3: 年2回以上の参加回数分については、次年度の参加回数としてカウントできます。

) 科目履修

【2009年度教育プログラム対象科目】

区分	科目名	単位
デジタル・ヒューマニティーズ科目 (6単位以上選択必修)	デジタルデザイン C	2
	デジタルデザイン C	2
	テキスト情報の処理 L	2
	デジタル・アーカイブ L	2
	デジタル・アーカイブ L	2
	画像メディア特論 1 00	2
	画像メディア特論 2 00	2
	学芸員のためのデジタル技術 L	2
	自然言語処理特論 00	2
	人文科学の主要問題 (講義) LA	2
	人文科学の主要問題 (演習) LA	2
	人文科学の主要問題 (演習) LA	2
	知識マネジメント論 GP	2
	統計解析演習 L	2
	統計解析演習 L	2
	日本文化研究 (演習) LA	2
	日本文化研究 (演習) LB	2
	日本文化研究 (演習) LA	2
	日本文化研究 (講義) LB	2
	日本文化研究 (講義) LB	2
日本文化研究 (講義) LA	2	
日本文化研究 (講義) LA	2	
博物館コミュニケーション論 L	2	
文化遺産保存計画論 00	2	

海外日本文化研究科目 (2単位以上選択必修)	人文科学の主要問題 (講義) LD	2
	地理情報学研究 (講義) L	2
	地理情報学研究 (講義) L	2
	日本文化研究(演習) LA	2

) 科目履修(2009年度後期開講科目)  
海外日本文化研究科目は英語で授業を行います。

科目区分	科目名	単位
デジタル・ヒューマニティーズ科目	日本文化研究(講義) LA	2
	統計解析演習 L	2
	テキスト情報の処理 L	2
	デジタルデザイン C	2
	デジタルデザイン C	2
	デジタル・アーカイブ L	2
	日本文化研究(演習) LA	2
	日本文化研究(講義) LB	2
	画像メディア特論 1 00	2
	日本文化研究(演習) LA	2
	人文科学の主要問題 (講義) LA	2
	学芸員のためのデジタル技術 L	2
海外日本文化研究科目	日本文化研究(演習) LA	2
	人文科学の主要問題 (講義) LD	2
	地理情報学研究 (講義) L	2

応募方法

選考の流れ **【説明会 応募書類提出 書類審査 決定 通知】**

1) 説明会

デジタル・ヒューマニティーズの研究・教学内容の理解の齟齬をなくすため、教育プログラムに参加される場合は必ず説明会へご参加ください。

日時：2009年8月31日(月) 18:00～19:00

場所：立命館大学アート・リサーチセンター多目的ルーム

説明会に参加できない場合は、個別にご相談をお受けします。下記、大学院課までご連絡ください。

説明会には、インターネットを利用してお手持ちのPCから参加することができます。インターネットを利用して説明会への参加をご希望の場合は、下記、大学院課までご連絡ください。参加方法についてお知らせいたします。なお、その場合、パソコン、ヘッドセット、USBカメラ(パソコンにカメラがついていれば不要です。)が必要です。

**【立命館大学 大学院課】**

E-mail : graduate-studies@st.ritsume.ac.jp

件名：下記のいずれかを件名にしてください。

「日本文化 DH 説明会参加希望」

「日本文化 DH 説明会インターネット参加希望」

「日本文化 DH 事前相談」

本文：住所、氏名、電話番号（ご自宅または携帯）、ご相談内容や説明会出席希望についてご記入ください。

2) 応募期間 2009年8月27日(木)～2009年9月3日(木)

ただし、8月31日(月)、9月1日(火)は除く。

3) 提出書類

- ・科目等履修生願兼学籍簿
- ・受講希望科目申請書
- ・大学院科目等履修生志望理由書
- ・日本文化DH教育プログラム研究計画書
- ・最終学歴の卒業証明書または修了証明書（受講資格を証明するもの）1枚
- ・写真（最近3ヶ月以内に撮影したカラー写真＜タテ3cm×ヨコ2.5cm＞）2枚

4) 応募書類提出先

- ・大学院課 下記いずれかの窓口へ書類を提出してください。  
衣笠キャンパス尚学館1階または、びわこ・くさつキャンパス学びステーション
- ・受付時間  
13時～17時（土、日、祝日は事務室閉室のため、書類は提出できません。）  
ただし、8月31日(月)、9月1日(火)は研修のため、事務室を閉室しているので応募書類は提出できません。

受講許可発表 2009年9月8日(火)(通知は郵送します。)

受講が許可されてからの受講科目の変更、取消はできません。

プログラム履修料

1) 履修料 後期セメスター 50,000円【後期セメスター 9/26～3/31】

(後期授業開講日：9月28日(月))

2) 履修料振込み期間 2009年9月8日(火)～2009年9月15日(火)

その他

- ・日本文化DH若手研究者支援制度を利用することができます。詳細は日本文化DHホームページをご覧ください。(http://www.arc.ritsumei.ac.jp/lib/GCOE/)
- ・拠点の研究プロジェクトに参加することができます。
- ・本学図書館、メディアライブラリーおよびメディアセンターの利用が可能です。  
(図書貸出条件・・・100冊、100日等)
- ・情報教室やマルチメディアライブラリーでパソコンを利用するためのユーザーIDとパスワードが与えられます。

以上

立命館大学 大学院課

TEL：075-813-8178

E-mail：graduate-studies@st.ritsumei.ac.jp